

ISSN 1344-5162

ぶらたなす

第66号

講義録「用途別に考えた児童向け図鑑の選び方」



令和7年3月

東京都立多摩図書館

はじめに

東京都立多摩図書館では、児童又は青少年サービスの実務経験が2年以上の区市町村立図書館職員等を対象に、「子供の読書に関する講座（児童図書館専門研修Ⅱ）」を実施しています。

この研修では、前年の研修アンケートで希望の多かったテーマについて、専門家を講師としてお招きし、様々な切り口から講義を行っていただいております。

令和6年度は、「図鑑の選書」をテーマに研修を実施しました。受講生に好評を博した講義内容をぜひ記録として残したいと考え、この度冊子にまとめて発行する運びとなりました。

本冊子の内容が、図書館で児童サービスに携わる皆様の一助となれば幸いです。

《研修概要》

令和6年度子供の読書に関する講座(児童図書館専門研修Ⅱ)

テーマ：用途別に考えた子供向け図鑑の選び方

講師：齋木 健一 氏（千葉県立中央博物館 主任研究員）

日時：令和7年1月22日（水）

午後1時30分から午後3時30分まで

場所：東京都立多摩図書館 2階 セミナールーム

※書誌事項後ろの請求記号と資料コードは
都立図書館のものであります。

1 図鑑を使ってみよう



※研修当日は、講師が配布した2種類の写真(上図参照)について、以下の3冊を使って名前を同定するワークが行われた。

《使用図書》

- ①『日本の昆虫 1400 1』(ポケット図鑑 チョウ・バッタ・セミ) 梶 真史／編, 伊丹市昆虫館／監修, 高井 幹夫／[ほか著] 文一総合出版 2013.4 (請求記号: SR/486.0/5139/1 資料コード:7102045750)
- ②『日本の昆虫 1400 2』(ポケット図鑑 トンボ・コウチュウ・ハチ) 梶 真史／編, 伊丹市昆虫館／監修, 高井 幹夫／[ほか著] 文一総合出版 2013.5 (請求記号: SR/486.0/5139/2 資料コード:7102187746)
- ③『葉で見わける樹木』(小学館のフィールド・ガイドシリーズ 23) 増補改訂版 林 将之／著 小学館 2010.7 (請求記号: R/653.2/5111/2010 資料コード: 5019134877)

(1) 虫の名前を調べる場合

虫の場合、パッと見て「セミ」「バッタ」「チョウ」などと、特定したい虫の仲間が子供でもなんとなく分かります。そのため、魚などと違って、ある程度最初から見るページを絞れることが特徴です。魚の場合は写真をパッと見て、それがコイの仲間なのか、タイの仲間なのかを判断することは、子供にとって難しいのではないかと思います。

現代は昆虫図鑑の隆盛期であり、それは写真技術の発達と深い関係があります。フィルムカメラの時代は、写真を撮って現像するまでうまく撮れたかどうかはわからないうえ、フィルム代や現像代が毎回 2,000 円ほどかかりました。そのため、昔はわざわざ虫を撮るといふ人は少なかったのだと思いますが、今は誰でも昆虫の写真をスマホやデジカメで気軽に撮ることができるようになりました。うまく撮れたかどうか、その場で確認することができます。そのため、最近の図鑑では、標本写真ではなく、生きている虫の写真を掲載したものが増えています。例を挙げると、2022 年に発行された『学研の図鑑 LIVE 昆虫』では、生きている虫を白背景で撮影した写真が使われています。かつては標本写真が主流だった昆虫図鑑の世界で、これは大変画期的な本だと言われています。

例えば、子供たちが捕まえたり、道端で撮影したりした写真を元にチョウの名前を特定する場合、「生きている=羽が閉じている」状態のチョウを図鑑と見比べることになります。標本写真の場合はすべての羽を開かせた状態になりますから、生きている時とはかなり見た目の印象が変わります。そのため、子供たちにとっては、標本写真よりも生きている状態の写真の方が調べやすく、そういう意味で、『学研の図鑑 LIVE 昆虫』は、子供の日常的な調べものに適している図鑑の一例と言えるのです。

ただし、専門家には標本写真による図鑑が今でも人気です。種名を特定するにあたり、重なっている下の羽の模様や前肢のカーブなど、細かい特徴が決め手になる場合が多いためです。標本写真と生きている状態の写真、どちらがより優れているというわけではなく、目的によって図鑑を使い分けるのが望ましいということだと思います。

(2) 植物の名前を調べる場合

今日、皆さんには木の葉の写真をお配りしましたが、虫と違い何の仲間なのか、パッと見て分かりにくいですよ。子供たちが植物図鑑を調べる場合も同じで、最初は 1 ページ目から全部見ていく、という方法になることが多いように思います。何度も何度も読んで慣れてきたら、何となくタンポポの仲間なのか菜の花の仲間なのかが判別できるようになる、そうすると、

キク科のページを見るという風に発展することはあるかもしれませんが、それではあまりにも探しにくいということで開発されたのが「検索図鑑」というタイプの書物です。今日のワークで使用した『葉で見わかる樹木』もこの検索図鑑に属します。これははっきり言って非常な名著でして、千葉大学園芸学部の1年生を対象としたワークでは、必ずこの図鑑を使用します。

p.2~3にかけて、「検索表」という、Yes/No でたどっていくと、その植物がどのグループに属しているのかを特定できるツールが掲載されています。p.4~5には、各用語の解説がありますから、検索表に出てくる用語の意味が分からなければ、そちらを見て判断することができます。

今日持ってきた写真の1番は「不分裂葉・対生・全縁・常緑樹」、2番は「不分裂葉・互生・鋸歯縁・常緑樹」という特徴があります。こうやって、小さな特徴を積み重ねて、植物のおおよそのグループを特定できるのが、検索図鑑の特徴です。

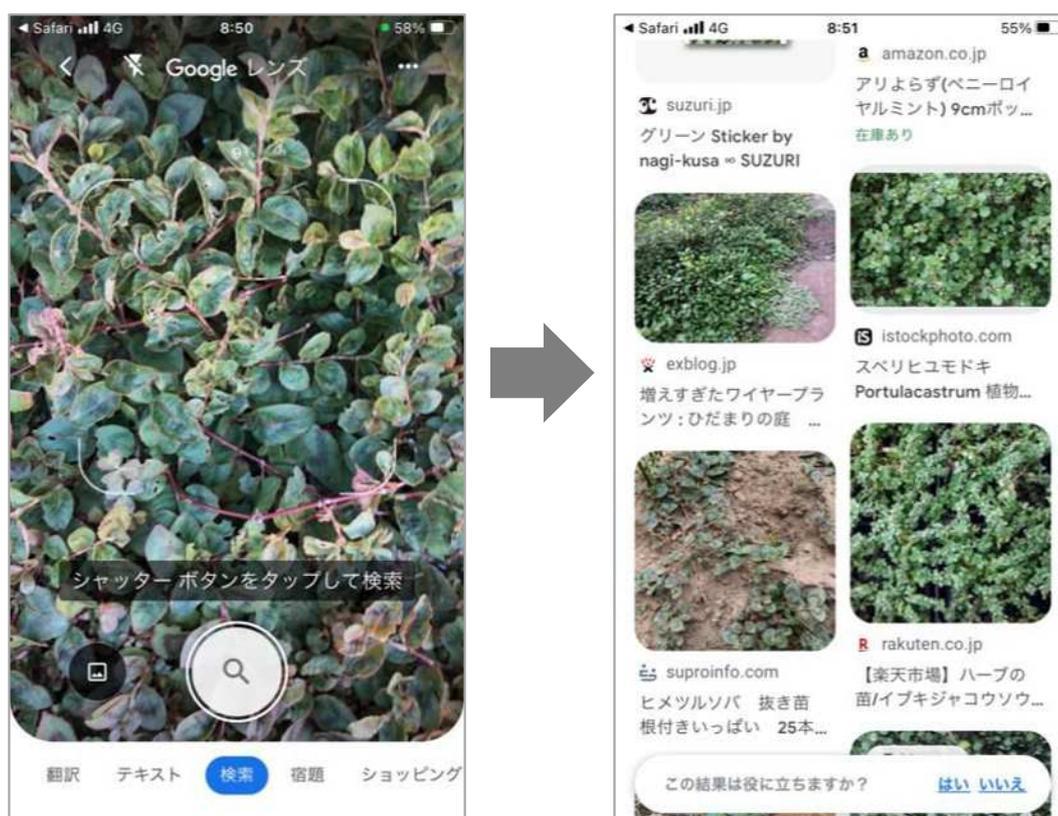
樹木の葉は検索表から同定できますが、同じ植物でも「草」の場合、同定作業はもっと難しくなります。樹木の葉は成熟したもののみが残っているため、どの葉をとってもほぼ同じ特徴が表れています。一方、草の場合、ものによっては成長した後も双葉が残っているケースがあり、根本と先端付近では葉の形が大きく変わるため、検索が難しいという特徴があります。このように葉だけで同定するのが難しいことから、草の場合は、花が咲いているときに調べるのが良いとされています。ただ、花についても、例えば色で検索する場合、白い花・黄色い花など1つの色だけで大量の種が存在するため、それらを更にどう分類して検索性を高めるかという課題があります。私が監修した『講談社の図鑑 MOVE mini 植物』では、まず花を色ごとに分けたうえで、おおよそのサイズごとに並べて、色と大きさから比較できるような検索表を作ってみました。

今日は2種のワークを行いました。子供に図鑑を薦める場合にも、自分で使ったことがなければどの図鑑が調べやすいのか、選ぶことができません。図書館員の皆さんには、ぜひ自分で図鑑を使って調べてみる、ということ、積極的に経験していただきたいと考えています。

(3) 画像識別アプリ・AI との関係

最近になって、図鑑をとりまく状況で大きく変わったことがあります。それは、画像から植物や昆虫の種類を特定するアプリや AI が登場したことです。Google レンズなどの無料の Web アプリを使えば、だれでも気軽に道端の植物や動物の種類を知ることができるようになりました。

皆さんも、ぜひ試しに使ってみてください。植物図鑑を写真に撮って試してみると、すぐ答え合わせができるため、おすすめです。



▲Google レンズの画面。左図の状態では虫メガネをタップすると、候補となる植物の画像が複数挙げられる。判定が間違っている場合もままあるが、おおよその見当をつけることができる。

以前は、植物の種類にある程度詳しい人しか図鑑から植物名を特定することができませんでした。そのため、野外に生えている植物を楽しむというのは、比較的敷居の高い行為であったと言えるかもしれません。

今はスマホで写真を撮りさえすれば、その場である程度の種類が分かるようになったことから、道端の植物を身近に感じる人が増えたのではないかと思います。特に子供たちに対しては、まず親のスマホで写真を撮っ

て、おおよその種類が分かってから図鑑で調べてみてはどうか、と提案することもあります。AI やデジタル技術は、図鑑にとっての敵ではありません。むしろそういったツールのおかげで敷居が高かった植物調べが楽になり、誰もが楽しむきっかけを得られるようになったとすれば、それは悪いことではないと私は思います。

(4) 写真の種類 —検索に適した写真とは?—

植物の場合、昔は野に生えている様子をそのまま撮影した「生態写真」が主流でしたが、最近は白い背景の前に植物を置いて撮影したり、余分な背景を削除した、通称「白バック」の写真が増えています。こちらの方が、葉の付き方や形などがはっきりとわかるため、植物を同定する際にはお勧めです。昔はこのような白バックの写真が撮れなかったため、葉の付き方などを表すときには、絵で表現しているものが主流でした。

≪資料例≫

『街でよく見かける雑草や野草がよーくわかる本 収録数 600 種以上!』

(Handy & Color Illustrated Book) 最新版 岩槻 秀明／著 秀和システム
2014.6 (請求記号:R/470.3/5064/2014 資料コード:7104144265)

…生態写真中心だが、600種以上が掲載されており情報量が豊富。「身近な植物」をテーマにした図鑑の場合、どの地域を想定して作られているかという点にも注目すべき。この本は著者が千葉県在住のため、関東地方の道端で見かける雑草を調べるのに適している。

『花と葉で見わける野草』

近田 文弘／監修, 亀田 龍吉／写真, 有沢 重雄／文 小学館 2010.4
(請求記号:R/470.3/5068/2010 資料コード:5019790313)

2 「図鑑」とは何か?

(1) 図鑑の定義とは何か

「図鑑」というものに確固たる定義はありません。そのため、どの本のタイトルに図鑑とつけても間違いではないと思いますが、私自身の考えとしては「現実存在するモノ」と「知識」を繋ぐのが図鑑だと考えています。

例えばここに一輪の花があるとします。その花を見ただけでは、色や匂いなど、外面的な特徴しか分かりません。それを図鑑という書物で調べることによって、その花の名前、成長の様子、薬効など、大袈裟に言えば、その花についてこれまで人類が蓄えてきた膨大な知識にアクセスできる、ということになります。この「花」が蒸気機関車でも、星でも、動物でも同じことだと思います。そういう意味で、図鑑というのはとても大事なツールだと考えています。

定義の話に関連して、よく「最も古い図鑑は何か」という質問を受けますが、洋の東西を問わず、最初に作られる図鑑というのは薬草に関係するものが多いと感じます。「モノ」と「知識」を対照する必要があり、めったに使わないけれどとても大事なもの、正確に同定できなければ正しく使えない薬草については、図鑑にする意義があると考えられたのでしょう。

最古の図鑑と言われているのは、紀元前 100 年頃に作られた「クラテウアスの本草書」だと言われています。この書物は残念ながら現存していませんが、有名な「ディオスコリデス薬物誌」という本があり、それがこの絵をひきついでいるとされているため、存在したことが示されている書物です。「クラテウアスの本草書」については、1~15 世紀の間、ヨーロッパで長く使われていましたが、その時代にあっても「図で表現された書物は幼稚である(文字のみで表現された書物の方が高尚である)」との考えから、軽んじられてきた歴史があるようです。

(2)「図鑑的な書物」には「4つの目的」がある

先ほど「図鑑というものに明確な定義はない」とお伝えしましたが、定義の代わりに何があるのかというと、それは「目的」です。「図鑑的な書物」が作られる目的は、以下の4つに分類されるのではないかと私は考えています。

【目的①】対象の名前を調べるための書籍

名前が分からないモノの名前を調べるための図鑑です。先ほどの検索図鑑のように、モノの特徴から名前を特定するための図鑑がこれにあたります。似ているモノの写真や絵をずらっと並べて、細かな違いを比べるよう

な作りになっているのが特徴です。

こういった図鑑の良し悪しを考えるとときに問題になりやすいのが「掲載種類数」ですが、これははっきりと答えを出すのが難しい問題です。

例えば、『日本の蛾』という図鑑には、約 3,000 種が掲載されていますが、日本にはおよそ 5,000~6,000 種の蛾が存在するため、約半分程度しか掲載されていないこととなります。昆虫図鑑については子供たちに人気のジャンルですが、各昆虫の種類数が多いため、なかなか網羅的な図鑑を作れないという状況があります。また、掲載種類数が多くても、日常的に見かける種が掲載されておらず、実は子供の調べ物には適さないというケースもあります。

上記のように、【目的①】の図鑑については、実際に使ってみないと良し悪しが分からない部分が多く、「おすすめの図鑑はあるか」と聞かれたときに紹介しにくい（調べたいモノの性質によって使い分ける必要がある）という面があります。

《資料例》

『葉で見わける樹木』（小学館のフィールド・ガイドシリーズ 23）

増補改訂版 林 将之／著 小学館 2010.7

（請求記号：R/653.2/5111/2010 資料コード：5019134877）

『新日本の昆虫 1900 1』（ポケット図鑑 チョウ・バッタ・セミ） 槐

真史／編著，伊丹市昆虫館／監修 文一総合出版 2024.7

（請求記号：SR/486.0/5252/1 資料コード：7118146341）

『新日本の昆虫 1900 2』（ポケット図鑑 トンボ・コウチュウ・ハチ）

槐 真史／編著，伊丹市昆虫館／監修 文一総合出版 2024.7

（請求記号：SR/486.0/5252/2 資料コード：7118146350）

【目的②】対象の形や性質、特徴を知るための書籍

子供たちが、調べ学習などで一番使うのが、このジャンルの図鑑です。調べ学習の場合、「〇〇について調べましょう」という形で、モノの名前は既に提示されている場合がほとんどです。そのため、対象となるモノの特徴や性質を、図鑑を使って調べるということになります。このジャンルの図

鑑は、細かな品種を識別するためのものではないため、図は比較的簡易に書かれており、そのモノ性質や用途、産地、歴史等が手厚く書かれているという特徴があります。各書籍にどのような情報が掲載されているかを覚えておけば、比較的小児に紹介しやすいタイプの図鑑です。

《資料例》

農文協「そだててあそぼう」シリーズ(既刊105冊)

…図が分かりやすく、モノの形や性質、特徴を詳しく説明している。調べ学習に必要な情報がコンパクトにまとまった良書。

小学館「食材図典」シリーズ(既刊4冊)

…子供が自分で読むのは難しいが、大人が横でかみ砕いて説明してあげれば理解できる内容。昆虫や植物など、特定のテーマに興味がない子に、食べ物というテーマはおすすめ。家に1冊置いておくと、親子の会話が広がる。

『分解する図鑑』(小学館の図鑑NEO+)

森下 信／監修・指導，石井 克枝／監修・指導，水野 仁輔／監修協力 小学館 2020.12(請求記号:/503/5002/2020 資料コード:7113704341)

…食材図典と同じく、特定のジャンルに興味のない子におすすめ。生き物だけでなく、こういった工学的なものも子供の興味をひきやすい。

『俳句の鳥・虫図鑑 季語になる折々の鳥と虫 204種』

復本 一郎／監修 成美堂出版 2005.4(都立未所蔵)

…子供向けではないが、少し毛色の違うものとして、こういった切り口からモノを紹介する図鑑もある。

【目的③】対象にかかわるエピソードや物語を知るための書籍

最近増えてきたのが、この【目的③】にあたる書籍です。有名なものとしては、高橋書店の『ざんねんないきもの事典』がこれにあたります。モノの名前を調べたり、その特徴を正確に知るといった目的ではなく、ある対象についてのエピソードや物語を楽しみたい、という方に向けた読み物の一群です。そのため、写実的ではないイラストで親しみやすさを演出するタイプの本が多いのが特徴です。種の特定を目的とした本ではなく、子供の興

味関心を喚起するきっかけづくりを目的とした本のため、正確に生態を捉えたイラストではないという点については、あまり気にしすぎなくても良いと考えています。本の持つ目的がそもそも違うという話です。

≪資料例≫

『ぬまがさわたりのゆかないきもの[㊦]図鑑』

ぬまがさ ワタリ／著 西東社 2018.5(都立未所蔵)

…見開き右側のページにオモテの姿が書いてあり、ページをめくるとウラの姿が紹介されているという構成。内容の瑕疵は少ないが、一部の内容に間違いがある。例えば p.96 に「シバイヌはオオカミに最も近いDNAをもつイヌ」とあるが、この事実は現在否定されている。このあたりについては系統樹を読むのが難しいため、勘違いしたのではないかと思われる。

【目的④】対象の美しさを楽しむための書籍

美しい写真や図を見ること自体を楽しむための図鑑です。代表的なものとして、「世界で一番美しい○○図鑑」のようなシリーズがあります。写真の美しさに惹かれて、そのジャンルに興味のない人にも手に取ってもらいやすく、分野の入口としては良いタイプの本です。ただ、図鑑と銘打っている以上、事実と違うことが記載されているのは良くないため、専門家が解説・監修しているものを選ぶ方が良いでしょう。

≪資料例≫

『世界で一番美しい海のいきもの図鑑』

吉野 雄輔／著, 武田 正倫／監修 創元社 2015.6

(請求記号:D/481.7/5264/2015 資料コード:7106029745)

…「世界で一番美しい」シリーズは海外書籍の翻訳が多いが、これは日本でオリジナル出版された本。

『世界で一番美しい元素図鑑』

セオドア・グレイ／著, ニック・マン／写真, 若林文高／監修 創元社 2010.11(請

求記号:/431.1/5081/2010 資料コード:5019587925)

…こちらは【目的②③】にも該当するであろう図鑑。写真の美しさもさなが

ら、解説がかなりマニアックで、その分野に精通した読者をも唸らせる。写真については、各元素から構成された「モノ」を集めているところがすごい。例えば「テクネチウム」は人工的に合成された元素のため、天然にはほとんど存在しないが、レントゲンの造影剤として使った結果の画像などを「元素に関連するモノ」として掲載している。

【その他】「4つの目的」に収まりきらないが、よい図鑑もある

《資料例》

『100までかぞえるでんしゃの1・2・3』

交通新聞社 2015.3

(請求記号:/E/10592/2015 資料コード:7105567696)

- …電車好きの心を驚掴みにする1冊。幼児向けの書籍だが、最後に車両に関するデータがすべて載っている点は秀逸。興味を持ったことについて、詳細な図鑑を使ってさらに詳しく調べるための道案内の役割を果たしている。

『おすしのずかん』（コドモエのえほん）

大森裕子／作、藤原昌高／監修 白泉社 2016.12

(請求記号:/596/5287/2016 資料コード:7108515595)

- …図鑑とあるが、絵本的なストーリーもある。お寿司と魚を対比させていて、起承転結があり最後は大団円で終わるのが良い。作者の大森さんは他にも『めんのずかん』『パンのずかん』など出しているが、本作はストーリー性が最も優れていると感じる。

3 図鑑の選び方

(1) 5つの目的を満たす蔵書をつくる

読者が図鑑的な書物を読む目的としては、先ほど挙げた「4つの目的」のほか、「飼育・栽培の方法を知る」という5つ目の目的も想定されます。これら5つの目的をすべて満たすことが、蔵書構築の基本となるでしょう。図書館がある地域の小学校ではどのような調べ学習が行われているのだろう？ この生き物の名前を調べたい子は来るかな？ など、利用者に対

する想像力をはたらかせつつ、5つの目的のどれに該当する本が必要なのか(または必要ないのか)を考えながら、選書を行っていただければ良いのではないかと思います。

ここまで紹介した本の中で、特に【目的③】【目的④】に属するものについては、図書館の皆さんからすると「これも図鑑なの?」と感じるようなものもたくさんあったと思います。ですが、私としては「その本が図鑑なのかどうか」という点はあまり重要ではないと考えています。5つの目的を踏まえた上で、自分の図書館の選書方針や、図書館に来る子供たちにどんなものを見せたいか、どんなことを伝えたいか、何が必要かを基準に取捨選択すれば良いのです。例えばきれいな写真を見て宇宙の素晴らしさを感じてほしいと思うなら【目的④】に該当する図鑑を入れると良いですし、いや、そういうものよりも生き物の名前を的確に検索できることこそ重要だと思うなら【目的①】に該当するものを中心に入れるというバランスになるでしょう。そのあたりは、一概に決められるものではなく、それぞれの図書館の地域性や利用者の傾向などにより変わってくる部分かと思われます。ただ、どれか1つに偏るよりは、1~5の目的を満たす本がバランスよく入っている方が望ましいのではないかと思います。

《資料例》

『生きものつかまえたらどうする?』

秋山 幸也／文, 松橋 利光／写真, こば ようこ／絵 偕成社 2014.7

(請求記号:/480/5226/2014 資料コード:7104232831)

…5つ目の「飼育・栽培の方法を知る」に関連して紹介したい1冊。この本は図鑑ではないが、「生き物の飼い方」が昔と比べて大きく変わっている現在、生物関係の研究者としてぜひ参照してほしい。現在、種の保存の観点から、一度飼った生き物は野外に放ってはいけないというルールがある。例として房総半島のニホンザルは外来種であるアカゲザルとの混血が進み、種としては絶滅寸前になっている。それと同じことが、子供たちが飼っている魚や虫を野外に逃がすことによって容易に起こってしまう。この本には「飼いきれなくなったらどうするか」がきちんと書いてあ

り、その基本は「捕まえたところに返しましょう」という方針(=外国産の昆虫などは死ぬまで飼うしかない、ということ暗に伝えている)。これは昔の飼育図鑑には書いていなかったことだが、子供たちにはぜひ伝えたい。図書館の皆さんにもぜひ知っていただきたいと思い、ここで紹介した。

(2) 図鑑選びを考える —事前課題のお悩み事例から—

●漢字や難しい用語の多い大人向けの図鑑にしか情報がない場合

「捕まえた虫の名前を知りたい」など、特に【目的①】に該当する図鑑を使う場合には、子供は写真とカタカナで書かれた名前さえあれば、絵合わせの要領で十分調べることができます。子供用の図鑑に比べて大人用の図鑑は圧倒的に掲載種類数が多いため、生き物の名前を調べる場合にはむしろ子供にとって満足いく結果をもたらしてくれることが多いでしょう。

特定の分野に強い興味を持っている子は、小学校3～4年生でも大人向けの図鑑を読む子が多いと感じます。最初は、分からない言葉を飛ばしつつ読みますが、次第に「内容を知りたい」という欲求から、漢字についても読みや意味を調べるなど、自発的な学習につながるケースも見てきました(例:「九州=きゅうしゅう」「四国=しこく」は地域名を表していて、この言葉が解説に書いてある虫はこの辺りにはあまりいない、と学ぶなど)。難しい用語や漢字を避けるのではなく、むしろ好きなことをきっかけにして、自然とそういった言葉を学べるのも図鑑の魅力の一つではないでしょうか。そんなわけで、大人向けの図鑑が図書館の子供コーナーにあっても良いのではいかと、私は思います。

《資料例》

『イモムシとケムシ チョウ・ガの幼虫図鑑』(小学館の図鑑NEO 23)

鈴木知之／執筆・写真・幼虫飼育，横田光邦／執筆・写真・幼虫飼育，筒井学／執筆・写真・幼虫飼育 小学館 2018.6

(請求記号:/486/5445/2018 資料コード:7111047092)

『イモムシハンドブック』1～3

安田 守／著，高橋 真弓／監修，中島 秀雄／監修 文一総合出版

(請求記号:/486.8/5051/2010 ほか 資料コード:5019112010 ほか)

…イモムシについてこれだけ多くの図鑑が出版されるのは、世界広しといえども日本だけではないだろうか。それくらい、種々様々な図鑑が刊行されている。イモムシの側面がずらりと並んだ写真は、さながら新幹線の図鑑のよう。1つの種について、タマゴ、幼虫、サナギ、成虫の写真を載せているが、この全段階の写真を撮るために、著者たちは掲載されているすべての種を飼育して羽化させている。

『昆虫の図鑑採集と標本の作り方』増補改訂第2版

福田 晴夫／著，山下 秋厚／著，福田 輝彦／著 南方新社 2020.5

(請求記号:/486.0/5043/2020 資料コード:7113163359)

…こちらも明らかに大人向けだが、学習図鑑で物足りなくなった子供におすすめ。

●学習図鑑の主要シリーズ(LIVE、MOVE、NEO、等)

いわゆる子供向けの図鑑シリーズとしてまず思い浮かぶのは、講談社の「MOVE」、学研の「LIVE」、小学館の「NEO」の3シリーズではないかと思えます。一般的に、小さい子にウケがいいのは学研の LIVE だと言われていて、その分野が好きな子が手に取りたくなるような構成になっています。講談社の MOVE はパツと見の印象が華やかで、その分野をまだよく知らない子に興味を持ってもらうきっかけづくりにぴったりのシリーズです。小学館の NEO はどちらかというと玄人向けで、掲載種類数を多くして学術的な要素も感じられる内容になっています。

上記がおおまかな傾向ではありますが、これらはシリーズとは言え、テーマによって監修者が異なるため、実は1冊ごとに内容の厚みが全然違います。やはりテーマの見せ方や、どの点を強調するかについては、編集に携わる人たちの個性が現れています。個性の強い監修者・編集者の手によるものは読むと面白いですが、シリーズ全体の傾向からは少し外れてしまうため、そのあたりのバランスが難しいなど、自分自身も図鑑制作に携わっていて感じているところです。

●多量に出版されている翻訳ものの図鑑

事前課題に出てきたお悩みの中に、「外国の図鑑がどんどん翻訳出版されているが、こういったものをどう選べば良いのか」という趣旨の質問がいくつかありました。外国の図鑑については、実は昔から良いものが多数翻訳出版されていますから、それらと比較してどうか、ということを基準にさせていただくと良いのかもしれません。

ただ、翻訳書の欠点として、掲載されている植物や昆虫が日本に生息していない場合が多く、日常的な調べものにはあまり向かないという点を忘れてはいけません。私自身も、子供のころに「ファーブル昆虫記」を読んでフンコロガシに大変興味を持ちましたが、日本には生息していないと知ってがっかりした記憶があります。それでも、翻訳の図鑑が良くないというわけではありません。先ほどのファーブル昆虫記のように、興味の幅や視野を広げてくれる、「世界にはこんな面白いことがあるんだ」というよろこびを与えてくれる点で、意義のあるものだと思います。

《資料例》

『知られざる地球動物大図鑑 驚くべき生物の多様性』

ロス・パイパー／著,日本動物分類学会会員有志／[ほか]監訳,西尾香苗／訳
東京書籍 2016.5

(請求記号:D/480.3/5030/2016 資料コード:7107706144)

…現在、高校の生物の教科書などを見ると、いわゆる哺乳類や鳥類は分類体系の端の方にあり、軟体動物や藻類系が系統樹の大半を占めていることがわかる。教科書には実物の写真があまり載っていないが、この図鑑には実際の写真が多数掲載されており、教科書の内容を視覚的に学ぶことができる。翻訳は「日本動物分類学会会員有志」により行われているため、内容面でも信頼できる。おそらく専門家たちは高校生に読ませたいと思って翻訳した本だと思われるが、興味の方向性が合えば、小学生でもはまる場合があるかもしれない。

あすなろ書房『『知』のビジュアル百科』シリーズ

…かつて同朋舎から「ビジュアル博物館」というシリーズ名で刊行されて

いたものと同じ。同社の解散に伴って著作権があすなろ書房に移り、値段も4,000円台だったものが2,000円台で入手可能となった。ただ、重版の予定は無いようで、在庫がなくなったものはどんどん入手不可になっている。子供が読みそうなテーマが多く、内容も必要なことがコンパクトにまとまっているため、手に入るうちにぜひ揃えていただきたい良シリーズ。

●幼児向けの図鑑

我が家の子供たちが好きだったのは、いわゆる「窓開け図鑑」です。子供は喜ぶますが、何度もめくるうちに壊れてくるため、図書館資料に向くものかどうかはちょっと迷う部分があります。最近は、以下のような版型の小さい図鑑もいろいろ出版されているようです。

≪資料例≫

『はじめてのずかん 555 英語つき』増補改訂版

講談社ビーシー／編 講談社 2017.10

(請求記号:/031/5219/2017 資料コード:7109704470)

…身近なものの写真とその名前、英語名が記載されているが、英語はなくても良いのではないかと思う。最近の幼児向け図鑑は英語が併記されている場合が多いが、間違った発音を覚えてしまう可能性もあるのではないかとちょっと心配。図鑑としての内容はよくできており、警察車両、野菜など、どこか1か所は子供の興味を引く部分がありそう。

成美堂出版「じぶんでよめるずかん」シリーズ

…目次に写真がずらっと並んでいる様子が子供の興味をひく。総ルビのため、ひらがなさえ読めれば子供が自分で読みこなすことができる。種の同定を目的として作られたものではないため掲載種類数は少なく、眺めて楽しむための図鑑。小さいころから特定の分野にはまるような子は、普段からこういった図鑑を眺めて掲載されているモノの名前と掲載ページなどを全部覚えている場合もある。

●「図鑑」とタイトルに入っていないけれども、良い「図鑑的な書物」がある

タイトルというのは作り手が自由につけられるため、「図鑑」という言葉が入っていないけれども、よい「図鑑的な書物」はたくさんあります。例えば「大百科」「大事典」などと銘打っているものもありますし、タイトルにとらわれず、良い本はどんどん図書館に入れていただければよいと思います。ただ、「図鑑」という言葉がタイトルに入っていない場合はキーワードで探せないため、なかなか見つけにくいという難点があります。私自身、タイトルに図鑑と入っていなかったため、買い逃してしまった良い図鑑がありました。

一般書の中から良い図鑑を見つける方法ですが、私は神保町の古書店巡りで探すことが多いです。「ブックハウスカフェ」のカウンターで聞いたり、古書センター内にある児童書専門店「みわ書房」や図鑑専門店「鳥海書房」、農文協の「農業書センター」に行ったりしています。

やはり現物を見て選ぶ、ということが大切だと思います。

≪資料例≫

『鳥の骨探』（BONE DESIGN SERIES）

松岡 廣繁／総指揮，伊藤 恵夫／[著]，原島広至とボーンデザイン編集委員会
／[著] エヌ・ティー・エス 2009.6

(請求記号:/488.1/5032/2009 資料コード:5016985615)

…鳥の骨の図鑑。タイトルに図鑑と入っていなかったため、見逃していた。後年存在を知ってぜひ入手したいと思ったが、その時には Amazon で約 4 万円まで値上がりしており、残念ながら入手できず。

●内容の正確性、信頼性についての見極め方

これは大変難しい問題です。というのも、たくさん図鑑を出版している版元や、経験豊富な著者でも、必ず間違いがないとは限りません。

以前、某大学教授の書かれた書籍の中で、牧野富太郎の時代には混同されていたけれど現在は別種と認定されている植物の名前が誤って記載されているのを見つけたことがあります。最新の学説をフォローしているかどうかは、分野によって見るポイントが変わるため、ケースバイケースと言わざるを得ない部分がありますが、著者・監修者の肩書だけで信頼する

のではなく、同ジャンルの複数の書籍と見比べるなど、内容を検討した上で選ぶ方が望ましいと言えるでしょう。

4 付属資料の DVD・QRコードの取扱い

動画や音声が見聴できるDVDやQRコードがついているものについて、その取扱いに悩む声も、事前課題で多く寄せられました。

今回、各シリーズの編集部を確認したところ、以下のような取扱いでお願いしたいとのご連絡をいただきました。

「小学館の図鑑 NEO」については、付属DVDの館内閲覧・館外貸出ともに原則禁止されていますが、QRコードは利用可能です。「学研の図鑑 LIVE」については、旧版はBBCの映像を使用していたため権利関係で貸出不可でしたが、現在刊行されている新版ではオリジナル映像を使用しているため、館内閲覧・館外貸出ともにOKとなっています。「講談社の動く図鑑 MOVE」も基本的にDVDの館外貸出はできませんが、学校での視聴はOKのため、団体貸出の場合のみDVDも一緒に貸し出すことができるようです。以上について、各図書館での取り扱いの目安にいただければと思います。

5 破損や除籍について

(1) 図鑑は破損しやすい？

図鑑は大きくて重たいため、子供にとってはやや扱いにくく、そのため誤った持ち方（表紙だけを持ってひきずるように移動するなど）をした結果、傷みやすくなるという面もあるようです。また、繰り返し読み込まれるタイプの資料でもあるため、度重なる利用の結果として特に糸の緩みやノド割れが出やすいとの意見が事前課題でもありました。

この点については各出版社も努力を重ねており、柔軟性の高い紙や糊が開発されれば採用し、製本所と相談して考えられる限り最も堅牢な方法で製本するなど、あらゆる方法で対応しているようです。

学研からは、正しい図鑑の扱い方についての啓蒙ポスターや掲示用の

パネルを全国の図書館に配布しているとの情報をいただきましたが、貼っている図書館さんはありますか？

(※研修会場内では、見たことがないという人が多い様子……)

(2) 古くなった図鑑を除籍するタイミングはいつ？

除籍についても事前課題で多くの質問がありました。一つの目安として、その図鑑の「目的」が、他の書籍でより良く代替できる場合は、元の本は除籍しても良いと思います。ただこの場合、両方の図鑑をしっかりと読み比べる必要があるため、毎回この作業を行うのはちょっと難しいかもしれません。次善の策として、学習図鑑のように同じ本の改訂版が何年かおきに出るようなものについては、新版が出たタイミングで古いものを捨てる、という方法もあるでしょう。

ただ、繰り返し何度も改訂が行われる場合は、逆に改訂のたびに購入すべきなのかという迷いが生じる場合もあるかと思います。この点については、「装丁が大きく変わったときに買い替える」のがよさそうです。というのも、装丁が大きく変わったときに、内容も大幅に変わっているケースが多いからです。



試しに、小学館の学習図鑑（テーマは昆虫）を古いものから順に比較してみたところ、内容が大きく変わっていたのは左図の3か所でした。

このように、内容が大きく変わったときに新版を購入し、古いものを除籍することでも良いのかな、と思います。

5 おまけ：学習図鑑をめぐる戦い

ここからは、図鑑の選書というテーマから少し脇道に逸れますが、「学習図鑑」というジャンルがたどってきた歴史的な経緯についても少しお話ししておきたいと思います。

学習図鑑というのは、現在で言うところの「NEO」「LIVE」「MOVE」のようなシリーズのことですが、これらは元々、学校の教科書を参考にして作られた書籍です。最初に作られた学習図鑑は、昭和24年に保育社から刊行された『学習理科図鑑』に始まるシリーズです。これが好評を博して、かなり売れました。その様子を見た小学館は、ぜひ同じようなものを作りたいと考え、プロジェクトチームを組んで保育社の図鑑を分析しました。すると、各項目の解説は、退職教員や関係者を中心とした「理科教育研究委員会」という団体が執筆しており、責任の所在が曖昧になっていること、内容も、過去の学術書から抜粋した内容をリライトしているということが分かりました。

そこで小学館は、教員と研究者をセットにした執筆チームをつくって図鑑制作にあたりました。そして完成した図鑑については、学校や図書館の必備図書目録のようなものに掲載してもらうことで、シェアを広げていきました。『学校図書館基本図書目録』の1953年版を見ると、保育社の図鑑がずらりと並んでいます。ところが、3年後の1956年版には、小学館の図鑑ばかりが挙がっているのです。

また、時期が前後しますが、昭和23年に文部省が発行した『学校図書館の手引』という冊子の中で、「図書選択の基準」という箇所に、良書の基準として「著者（権威があるかどうか。）」「発行地（文化的に高い土地かどうか。東京でか地方都市での発行かということが、図書内容の良否を決定する重要な要素となる場合がある。）」という記述があります。版元の所在地を見ると、小学館は東京、保育社は大阪です。

これら一連のできごとの因果関係は不明ですが、何かしらのつながりがあるのではないかと、思わずにはいられません。

この話はあくまでも余談ではありますが、図書館員の皆さんは、図書館史を紐解くときに、ぜひ図鑑の歴史にも目を向けていただけると嬉しいなと思い、今回紹介しました。

【資料編】講義中に紹介された図書・シリーズ一覧

『日本の昆虫 1400 1』（ポケット図鑑 チョウ・バッタ・セミ） 槐 真史／編，伊丹市昆虫館／監修，高井 幹夫／[ほか著] 文一総合出版 2013.4（請求記号：SR/486.0/5139/1 資料コード：7102045750）
『日本の昆虫 1400 2』（ポケット図鑑 トンボ・コウチュウ・ハチ） 槐 真史／編，伊丹市昆虫館／監修，高井 幹夫／[ほか著] 文一総合出版 2013.5（請求記号：SR/486.0/5139/2 資料コード：7102187746）
『葉で見わける樹木』（小学館のフィールド・ガイドシリーズ 23） 増補改訂版 林 将之／著 小学館 2010.7 （請求記号：R/653.2/5111/2010 資料コード：5019134877）
『植物』（講談社の動く図鑑 MOVE mini） 天野 誠／監修，斎木 健一／監修 講談社 2020.7 （都立未所蔵）
『街でよく見かける雑草や野草がよーくわかる本』（Handy & Color Illustrated Book）最新版 岩槻 秀明／著 秀和システム 2014.6（請求記号：R/470.3/5064/2014 資料コード：7104144265）
『花と葉で見わける野草』 近田 文弘／監修，亀田 龍吉／写真，有沢 重雄／文 小学館 2010.4 （請求記号：R/470.3/5068/2010 資料コード：5019790313）
『ディオスコリデス薬物誌』 ディオスコリデス／[著]，岸本 良彦／訳注 八坂書房 2022.3 （請求記号：/499.9/5048/2022 資料コード：7115374933）
『日本の蛾』 岸田 泰則／[編] 学研プラス 2020.8 （請求記号：R/486.8/5117/2020 資料コード：7114754535）

『新日本の昆虫 1900 1』(ポケット図鑑 チョウ・バッタ・セミ)

梶 真史／編著, 伊丹市昆虫館／監修 文一総合出版 2024.7

(請求記号:SR/486.0/5252/1 資料コード:7118146341)

『新日本の昆虫 1900 2』(ポケット図鑑 トンボ・コウチュウ・ハチ)

梶 真史／編著, 伊丹市昆虫館／監修 文一総合出版 2024.7

(請求記号:SR/486.0/5252/2 資料コード:7118146350)

農山漁村文化協会「そだててあそぼう」シリーズ

(請求記号:/626/3016/97 他 資料コード:7100279061 他)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1 トマトの絵本 | 54 リンゴの絵本 |
| 2 ナスの絵本 | 55 ミカンの絵本 |
| 3 サツマイモの絵本 | 56 カブの絵本 |
| 4 ジャガイモの絵本 | 57 ネギの絵本 |
| 5 トウモロコシの絵本 | 58 ゴマの絵本 |
| 6 イネの絵本 | 59 ウメの絵本 |
| 7 ムギの絵本 | 60 乳牛の絵本 |
| 8 ソバの絵本 | 61 タマネギの絵本 |
| 9 ダイズの絵本 | 62 レタスの絵本 |
| 10 ワタの絵本 | 63 イチジクの絵本 |
| 11 キュウリの絵本 | 64 肉牛の絵本 |
| 12 カボチャの絵本 | 65 アイガモの絵本 |
| 13 メロンの絵本 | 66 アズキの絵本 |
| 14 イチゴの絵本 | 67 ハクサイの絵本 |
| 15 ラッカセイの絵本 | 68 ナシの絵本 |
| 16 ヒマワリの絵本 | 69 タケの絵本 |
| 17 ケナフの絵本 | 70 バラの絵本 |
| 18 アイの絵本 | 71 ソラマメの絵本 |
| 19 カイコの絵本 | 72 サトイモの絵本 |
| 20 ニワトリの絵本 | 73 クリの絵本 |
| 21 ダイコンの絵本 | 74 カーネーションの絵本 |
| 22 ヘチマの絵本 | 75 ブロッコリー・カリフラワーの絵本 |
| 23 コンニャクの絵本 | 76 ハーブの絵本 |
| 24 サトウキビの絵本 | 77 ニンニクの絵本 |
| 25 ヤギの絵本 | 78 レンコン<ハス>の絵本 |
| 26 キクの絵本 | 79 オリーブの絵本 |
| 27 スイカの絵本 | 80 サクラランボの絵本 |
| 28 ヒツジの絵本 | 81 インゲンマメの絵本 |
| 29 ヒョウタンの絵本 | 82 ユリの絵本 |
| 30 カキの絵本 | 83 キウイフルーツの絵本 |
| 31 ブルーベリーの絵本 | 84 マンゴーの絵本 |

32 キャベツの絵本	85 ウマの絵本
33 ナタネの絵本	86 ホウセンカの絵本
34 アサガオの絵本	87 ミニトマトの絵本
35 シイタケの絵本	88 ビワの絵本
36 土の絵本 1	89 モモの絵本
37 土の絵本 2	90 菜っぱの絵本
38 土の絵本 3	91 赤米・黒米の絵本
39 土の絵本 4	92 山菜の絵本
40 土の絵本 5	93 きのこの絵本
41 ニンジンの絵本	94 ウサギの絵本
42 ミツバチの絵本	95 コイ・フナの絵本
43 ベニバナの絵本	96 農作業の絵本 1
44 チャの絵本	97 農作業の絵本 2
45 ブドウの絵本	98 農作業の絵本 3
46 ピーマンの絵本	99 農作業の絵本 4
47 ホウレンソウの絵本	100 農作業の絵本 5
48 アスパラガスの絵本	101 肥料と土づくりの絵本 1
49 ブタの絵本	102 肥料と土づくりの絵本 2
50 チューリップの絵本	103 肥料と土づくりの絵本 3
51 ニガウリ(ゴーヤー)の絵本	104 肥料と土づくりの絵本 4
52 オクラの絵本	105 肥料と土づくりの絵本 5
53 アワ・ヒエ・キビの絵本	
『 食材図典 Food's food 』 [小学館／編] 小学館 1995.3 (請求記号:R/4985/3232/95 資料コード:1114823293)	
『 食材図典 FOOD'S FOOD 2 』 小学館 2001.4 (請求記号:R/4985/3232/2 資料コード:5002415059)	
『 食材図典 FOOD'S FOOD 生鮮食材篇 』 新版 小学館 2003.3 (請求記号:R/596.0/5552/1 資料コード:5019849887)	
『 食材図典 FOOD'S FOOD 3 』 (地産食材篇) 小学館 2008.3 (請求記号:R/596.0/5552/3 資料コード:5019827843)	
『 分解する図鑑 』 (小学館の図鑑 NEO+) 森下 信／監修・指導,石井 克枝／監修・指導,水野 仁輔／監修協力 小学館 2020.12(請求記号:/503/5002/2020 資料コード:7113704341)	
『 俳句の鳥・虫図鑑 季語になる折々の鳥と虫 204 種 』 復本 一郎／監修 成美堂出版 2005.4(都立未所蔵)	
『 ざんねんないきもの事典 おもしろい!進化のふしぎ [正] 』	

<p>今泉 忠明／監修，下間 文恵／絵 ，徳永 明子／絵 高橋書店 2016.5 (請求記号:/480/5264/2016 資料コード:7107471665)</p>
<p>『ぬまがさワタリのゆかないいきもの[㊦]図鑑』 ぬまがさ ワタリ／著 西東社 2018.5(都立未所蔵)</p>
<p>『世界で一番美しい海のいきもの図鑑』 吉野 雄輔／著，武田 正倫／監修 創元社 2015.6 (請求記号:D/481.7/5264/2015 資料コード:7106029745)</p>
<p>『世界で一番美しい元素図鑑』 セオドア・グレイ／著，ニック・マン／写真，若林文高／監修 創元社 2010.11 (請求記号:/431.1/5081/2010 資料コード:5019587925)</p>
<p>『100 までかぞえるでんしゃの1・2・3』 交通新聞社 2015.3 (請求記号:/E/10592/2015 資料コード:7105567696)</p>
<p>『おすしのずかん』(コドモエのえほん) 大森 裕子／作，藤原 昌高／監修 白泉社 2016.12 (請求記号:/596/5287/2016 資料コード:7108515595)</p>
<p>『生きものつかまえたらどうする?』 秋山 幸也／文，松橋 利光／写真 ，こば ようこ／絵 偕成社 2014.7 (請求記号:/480/5226/2014 資料コード:7104232831)</p>
<p>『イモムシとケムシ チョウ・ガの幼虫図鑑』(小学館の図鑑NEO 23) 鈴木 知之／執筆・写真・幼虫飼育，横田 光邦／執筆・写真・幼虫飼育 ，筒 井 学／執筆・写真・幼虫飼育 小学館 2018.6 (請求記号:/486/5445/2018 資料コード:7111047092)</p>
<p>『イモムシハンドブック』 安田 守／著，高橋 真弓／監修，中島 秀雄／監修 文一総合出版 2010.4 (請求記号:/486.8/5051/2010 資料コード:5019112010)</p>
<p>『イモムシハンドブック』 2 安田 守／著，高橋 真弓／監修，中島 秀雄／監修 文一総合出版 2012.4 (請求記号:/486.8/5051/2 資料コード:7100496457)</p>

『イモムシハンドブック』 3

安田 守／著,高橋 真弓／監修,中島 秀雄／監修 文一総合出版 2014.4

(請求記号:/486.8/5051/3 資料コード:7103972920)

『昆虫の図鑑採集と標本の作り方』 増補改訂第2版

福田 晴夫／著,山下 秋厚／著,福田 輝彦／著 南方新社 2020.5

(請求記号:/486.0/5043/2020 資料コード:7113163359)

『知られざる地球動物大図鑑 驚くべき生物の多様性』

ロス・パイパー／著,日本動物分類学会会員有志/[ほか]監訳,西尾香苗/訳
東京書籍 2016.5

(請求記号:D/480.3/5030/2016 資料コード:7107706144)

あすなろ書房 『「知」のビジュアル百科』 シリーズ

(請求記号:D/458.0/5006/2004 他 資料コード:5008897204 他)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 岩石・鉱物図鑑 | 26 海賊事典 |
| 2 結晶・宝石図鑑 | 27 スパイ事典 |
| 3 樹木図鑑 | 28 ホネ事典 |
| 4 化石図鑑 | 29 写真が語るベトナム戦争 |
| 5 楽器図鑑 | 30 コインと紙幣の事典 |
| 6 イヌ科の動物事典 | 31 写真でみる聖書の世界 |
| 7 世界の宗教入門 | 32 写真でたどるロシアの文化と歴史 |
| 8 古代エジプト入門 | 33 太古の生物図鑑 |
| 9 古代ローマ入門 | 34 ヴァイキング事典 |
| 10 ミイラ事典 | 35 考古学入門 |
| 11 魔術事典 | 36 アステカ・マヤ・インカ文明事典 |
| 12 神話入門 | 37 写真でみるアメリカ・インディアンの世界 |
| 13 文字と書の歴史 | 38 天気のおくみ事典 |
| 14 衣服の歴史図鑑 | 39 写真でみる異常気象 |
| 15 世界の建物事典 | 40 カウボーイ事典 |
| 16 写真が語る第一次世界大戦 | 41 写真でみる農耕と畜産の歴史 |
| 17 写真が語る第二次世界大戦 | 42 写真でみる世界の舞踊 |
| 18 古代ギリシア入門 | 43 船の百科 |
| 19 武器の歴史図鑑 | 44 世界の鉄道事典 |
| 20 中世ヨーロッパ騎士事典 | 45 オリンピック大百科 |
| 21 ピラミッド事典 | 46 写真でみる発明の歴史 |
| 22 ルネサンス入門 | 47 知られざる難破船の世界 |
| 23 写真でたどる中国の文化と歴史 | 48 写真でみる探検の歴史 |
| 24 古城事典 | 49 馬の百科 |
| 25 中世ヨーロッパ入門 | 50 恐竜事典 |

『はじめてのずかん 555 英語つき』 増補改訂版

講談社ビーシー／編 講談社 2017.10

(請求記号:/031/5219/2017 資料コード:7109704470)

成美堂出版「じぶんでよめるずかん」シリーズ

(請求記号:/536/5149/2018 他 資料コード:7110286186 他)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・じぶんでよめるいきものずかん | ・じぶんでよめるそらずかん |
| ・じぶんでよめるぎょうじずかん | ・じぶんでよめるたべものずかん |
| ・じぶんでよめるきょうりゅうずかん | ・じぶんでよめるでんしゃずかん |
| ・じぶんでよめるくるまずかん | ・じぶんでよめるどうぶつずかん |
| ・じぶんでよめるこんちゅうずかん | ・じぶんでよめるとりずかん |
| ・じぶんでよめるさかなずかん | ・じぶんでよめるのりものずかん |
| ・じぶんでよめるしょくぶつずかん | ・じぶんでよめるはなずかん |

『鳥の骨探』(BONE DESIGN SERIES)

松岡 廣繁／総指揮, 伊藤 恵夫／[著], 原島広至とボーンデザイン編集委員会／[著] エヌ・ティー・エス 2009.6

(請求記号:/488.1/5032/2009 資料コード:5016985615)

『昆虫図鑑』(保育社の学習図鑑)

理科教育研究委員会／編 保育社 1953(都立未所蔵)

『学校図書館基本図書目録』(1953年版)

全国学校図書館協議会(都立未所蔵)

『学校図書館基本図書目録』(1956年版)

全国学校図書館協議会(都立未所蔵)

『学校図書館の手引』

文部省／[編] 師範学校教科書 1948

(請求記号:/0170/19/ 資料コード:1126231704)



ぷらたなす 第66号

発行 東京都立多摩図書館 児童青少年資料担当

〒185-8520

東京都国分寺市泉町 2-2-26

電話 042-359-4109